

平成29年度研究科横断型教育プログラム (Bタイプ) 授業科目

開講方式	Bタイプ (特別開講型)	研究科等名	宇宙総合学研究ユニット	横断区分	文理横断型	開講場所	吉田キャンパス北部構内にて開講予定				
授業科目名 (英訳)	宇宙の人文社会学 (Humanities and social sciences of space)			講義担当者 所属・職名・氏名	総合生存学館・准教授・磯部 洋明						
配当学年	修士 博士後期 専門職	提供可能 コマ数	5コマ	開講年度・開講期	後期	曜時 限	火5限 (16:30-18:00)	授業形態	講義	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】											
宇宙利用は拡大を続けており、通信、GPS など人工衛星が必須の社会インフラ化する一方、新興国や民間による宇宙観光など様々なプレイヤーが参入し、世界の宇宙開発は大きく変容しつつある。これに伴い、宇宙空間のガバナンスや、人命や環境汚染のリスクに伴う倫理的問題など、人文社会科学の領域に入る様々な問題が新たに出現している。一方宇宙という人類がこれまで経験したことがないフィールドは、そこで活動する個々の人間とその社会に関する新しい視点と知見をもたらすという点で、人文社会科学そのものに新たな展開をもたらす可能性がある。この講義では、新たに出現しつつある学際的な分野である宇宙の人文社会学について現状を概説する。宇宙分野の理工系の大学院生は自分の研究の社会的・学術的な位置づけについての考察を深め、それ以外の分野の大学院生は自分の研究分野と宇宙との接点を見つけ、そこから新しい研究へ発展させることを目指す。											
【研究科横断型教育の概要・目的】											
授業は全5コマで集中的に行う。大学院生を対象にした学問的水準の授業科目であり、広い視野と新しい学問領域を創造する能力をもつ大学院生を養成することを目的としている。											
【到達目標】											
現代文明を様々な側面から支える宇宙利用の全体像を把握するとともに、先端科学技術と人文社会学的な知を横断して新たな学術研究が生まれるプロセスについて学ぶ。											
【授業計画と内容】											
日程は10月3、10、17、24、31日の予定。内容は宇宙と人類の関係概論、宇宙政策、宇宙産業、宇宙倫理学、宇宙人類学など。適時ゲスト講演者を招いて講義をして頂く。 詳細は宇宙ユニット Web ページ(http://www.usss.kyoto-u.ac.jp/uchugaku/gakusei.html)に掲載する。											
【履修要件】											
予備知識は特に必要としない。人文社会系分野を含む幅広い分野の大学院生の受講を歓迎する。											
【学修証授与の要件】											
授業への積極的な参加と授業中に指示するレポートの提出を持って授与する。											
【教科書】											
なし											
【参考書等】											
特になし、参考図書については講義中に適宜紹介する											
【授業外学修(予習・復習)等】											
なし											
【その他(オフィスアワー等)】											
なし											